

棚卸管理会計科目の管理会計予算額（実績額）の入力方法について

棚卸処理（[\[導入処理\]-\[会計期間設定\]-\[会計期間設定\]メニューの\[基本設定\]ページ](#)で設定）が「月次棚卸」の場合は、棚卸の管理会計科目については、以下のように管理会計予算額（実績額）を入力します。

参考

勘定奉行における月次の棚卸仕訳では、2ヶ月目以降、「期首〇〇」の勘定科目ではなく「期末〇〇」の勘定科目を使用しますが、**管理会計予算額と管理会計実績額の入力においては、他の管理会計科目と同様に**、各月の予算や実績金額をそのまま「期首〇〇」・「期末〇〇」それぞれに登録します。

※勘定奉行実績（仕訳伝票データ）・勘定奉行予算（予算額データ）の棚卸処理については、「[棚卸資産に関する処理方法](#)」をご確認ください。

◀ 管理会計予算として以下の予算を入力する場合 ▶

勘定科目名	予算		
	4月	5月	6月
期首商品及び製品棚卸高	300	200	100
期末商品及び製品棚卸高	200	100	50

◀ 管理会計予算額入力用のExcelファイル ▶

Excelファイルでは、予算の金額をそのまま管理会計予算額として入力します。

※管理会計実績額の場合も同様に入力します。

コード	名称	2010年4月	2010年5月	2010年6月
		管理会計予算	管理会計予算	管理会計予算
00600	期首商品及び製品棚卸高	300	200	100
00614	期末商品及び製品棚卸高	200	100	50

注 意

システムを期中に導入した場合の注意点

各管理会計帳票で、月次の棚卸金額を確認する場合は、システムを期中に導入した場合でも、以下のデータすべて、導入した月からではなく「期首月」から入力してください。

- ・ 管理会計予算額
- ・ 管理会計実績金額
- ・ 勘定奉行実績（[\[導入前実績金額入力\]メニュー](#)）
- ・ 勘定奉行予算（[\[予算額登録\]メニュー](#)）